

さわらび

第69号

平成30年11月15日発行



社会福祉法人 泰仁会
特別養護老人ホーム「やさと」

石岡市小倉442-1
TEL (0299) 43-0811(代)

特別養護老人ホーム「桜の郷 元気」
東茨城郡茨城町桜の郷231-7
TEL (029) 292-3900(代)



「103歳 敬老のお祝い」

泰仁会・江隆会ホームページ

泰仁会

クリック!



泰仁会ホームページ



やさとブログ

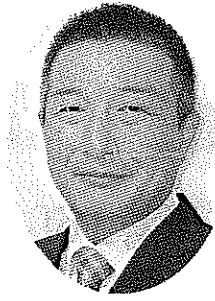
◇ 目 次 ◇

猛暑の夏.....2	もぎたて! 新鮮!5
やさと敬老会.....2	涼しいをいただきます.....5
やさと第23回 納涼祭開催.....3	「本心」6
おくらの里家族会.....4	第9回 元気まつり.....7
ひまわり家族会.....4	バレーボール大会.....8
おまつり見学.....4	事故対策, 身体拘束ゼロ
みんなで流しそうめんめ.....4	苦情処理委員会8
夏祭り.....5	お疲れ様でした.....8
暑さを吹きとばせ!5	編集後記.....8

猛暑の夏

特別養護老人ホーム やさと

施設長 高城 裕



施設長 高城 裕

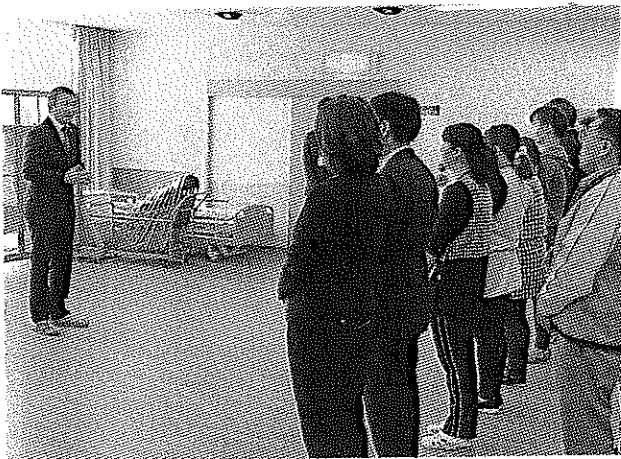
今年の夏は、記録的な猛暑が続き暑さが厳しいのは昼間だけではなく、夜まで影響し寝苦しい日が続きました。全国各地でも熱中症リスクが高まり、職場内はもちろん外出先でもこまめな水分補給をしながら熱中症対策に取り組みました。

そうした中、天皇陛下が生前退位されることとなり「平成最後の夏」という言葉を聞いた時、目にしたりする機会が多くなりました。当たり前ですが、生前退位がなければ誰も最後なんて意識することもないでしょう。私は昭和生まれです。昭和の時代が懐かしく取り上げられることがあるように、平成生まれの方々の時代もいつしか意識されるようになっていくと思います。

今年で二十三回目を迎えた納涼祭でしたが、開始三十分のところで雷雨となり中止となりました。ご利用者の安全を第一に考え避難し、事故

もなく終えることができました。実行委員長をはじめ、各担当委員の方々は不完全燃焼だったと思います。また、ご利用者ご家族様、ボランティアの方々、地域住民の皆様も楽しみにしていた催し物は来年へ持ち越しとなりました。

平成最後の納涼祭はこのよう形で終了となりましたが、来年は新年号へ移行します。新しいアイデアや企画で納涼祭が大きく生まれ変わります。完全燃焼できることを楽しみにしています。



やさと敬老会

九月十三日、やさと敬老会を開催しました。今年は二十名の方が節目の歳を迎えられ、その中で百歳を超えている方が六名いらっしゃいました。

当日はお忙しい中、石岡市長の今泉文彦様が来園され、ご祝辞を賜りまた、草穂地区のプレゼントを贈呈



祝平成三十年度やさと敬老会



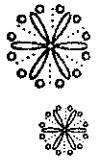
して頂きました。次に高城施設長が一人ひとりにお祝いの言葉をかけながら賞状と色紙を手渡しました。

後半にはアトラクションとして、さくらんぼグループ様による素敵な舞踊や歌の披露でお祝いの場を盛り上げて頂きました。ご利用者の皆様も一緒に歌を口ずさんだり、楽しい時間を過ごすことができました。



祝平成三

やさと 第23回 納涼祭開催!



立派な開会のあいさつでした!



はいっ、チーズ!



ミニオンに続け!



ボランティア様も大活躍!



ご利用者も一緒になって踊りました!

やさとでは8月25日に第23回納涼祭を開催いたしました。

平成最後の納涼祭はあいにくの雷雨で途中までの開催となりましたが、ご利用者の皆様は早めに避難することができ、無事に終えることができました。

今年もたくさんの方にご協力、ご来園いただき誠にありがとうございました。

また来年に向けて楽しい納涼祭を開催できるように準備してまいります!

おぐらの里家族会

おぐらの里グループ
介護職 エレン

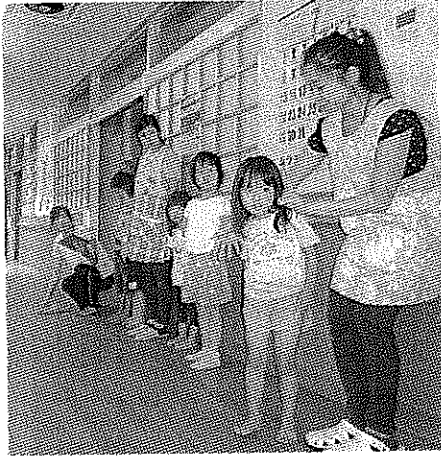
七月一日におぐらの里グループ家族会を開催しました。皆様、お忙しい中、九名のご家族に参加頂きました。毎日、実施している嚥下体操（パタカラ）やりハビリ体操と一緒に体験して頂き、その他にもフィリピンのお菓子（トロン）を作り、みんなで食べながら楽しい時間を過ごすことができました。



ひまわり家族会

ひまわりグループ
介護職 ジェーン

七月二十二日ひまわりグループ家族会を開催しました。職員手作りの白玉ぜんざいをメインにお茶会を行い、職員の余興や託児所の子ども達による歌の発表会を行いました。ご家族の皆様と楽しく過ごす有意義なひとときになりました。



おまつり見学

おぐらの里グループ
副主任 宮本 泉



七月二十九日に柿岡のおまつりへ行ってきました。
かき氷を食べながら、山車の太鼓のリズムに合わせて手拍子をしながら昔を懐かしみ、とても楽しんでいました。
柿岡の皆様から声を掛けて頂き、地域の方々との繋がりを感ずることができました。



みんなで流しそうめん♪

「ぎつねの郷」
市川 智美



七月二十日にグループホームで行われた流しそうめんに参加してきました。子ども達は、竹から流れてくる水に触れながら、そうめんやフルーツを掴み、食べるのに夢中です。暑い日が続く中、ご利用者の皆様と一緒に「涼」を感じ、夏の思い出を作ることができました。

夏祭り

デイサービスやさと

主任 富田 訓央

八月五日にデイサービス夏祭りを開催しました。

ご利用者の皆様には、夏祭りに欠かせないかき氷や、わたあめを振る舞い、ヨーヨー釣りも楽しんで皆様童心に返ったかのような様子でした。

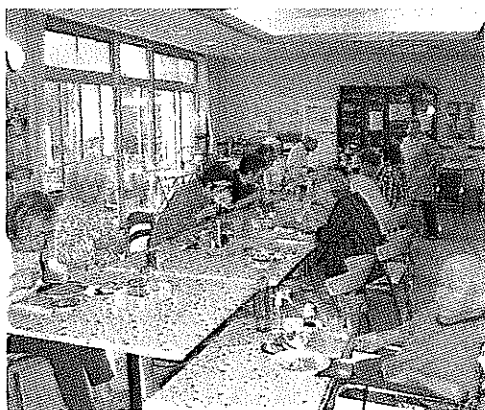
昼食には豪華なカツ丼を召し上がって頂き、楽しい一日となりました。



暑さを吹きとばせ!

ケアハウスやさと

介護職 高橋 陽子



ケアハウスでは九月二十五日に、中庭でバーベキューを行いました。焼き鳥、フランクフルト、焼きそばをつくり、ご利用者の皆様に召し上がって頂きました。

いろいろな飲み物とバーベキューの量の多さに「こんなに食べきれないよ」と驚いていました。

皆様に喜んで頂けるように来年も開催したいと思います。

もぎたて!新鮮!

グループホームさわらび

介護職 津村 健一郎

グループホームさわらびでは九月上旬に、毎年恒例のぶどう狩りへ出かけました。

青い空のもと大きく熟したシャインマスカットや巨峰をたくさん堪能することができ、皆様とても笑顔になりました。

これからは秋の季節、外出行事を積極的に行っていきたいです。



涼しいをいただきます

国府あおい

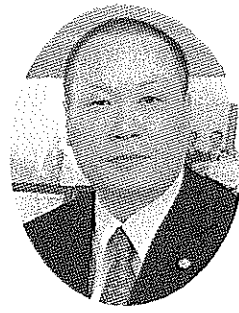
介護職 若菜 美恵子



国府あおいでは、外が猛暑の中、施設で流しそうめんを行いました。なかなか最初はうまくすぐえずにそうめんと格闘していましたがお椀いっぱいになると、大喜びして楽しいお昼となりました。

「来年は、いろいろなものを流したら?」という提案がありましたので、来年は工夫をこらしていきたいと思っています。

「本心」



元氣 長直 人
桜の郷 施設 永山 直人

九月末に札幌市の特別養護老人ホームを訪問しました。上旬に「北海道胆振東部地震」が発生して間もない頃です。ユニツトケアの研修事業で、研修指定施設となっている施設の「更新調査」を行うためです。

施設長さんとは、施設の開設年月日や、ユニツトケア導入にあたっての苦労が全く同じで、もう十年の付き合い合いです。「停電には本当に苦労しました。備えはしっかりしていたつもりだったが、甘かった。」、その言葉に、「おそらく今、日本で備えをしないで安心して暮らせるところは少ない。」と再度、危機意識を高めたところです。桜の郷 元氣は、入居者家族会を開設より結成していますので、近隣住民の方々も含めて、災害対策や防災訓練を考えていきたいと思っ

ております。入居者・ご利用者、そして職員を守るためにも決して忘れてはならない事です。

さて、三十年度も半期が終わりました。私の中ではこの半年間で、とても嬉しい事が二つほどありました。一つは、前年度から特に力を入れている、「地域と共に暮らし地域につながるサービスの実践」という理念にもとづき、「自立(律)支援の取り組み」に全力を懸けた結果、入居者七十名のうち、この四月から九月の六か月間で、二十四名の方が要介護認定の更新調査を受け、十名の入居者に「要介護状態の改善」が見られました。「現状を維持」された入居者も十名であり、平均年齢が八十八歳のみなまですから、現状を維持するという事だけで、素晴らしいと思っっています。毎日の努力の積み重ねが成果につながったのだと、入居者お一人おひとりの顔を思い浮かべています。加齢していつても、いつまでも「自分でできる事は自分で」

「自分で決められる事は自分で決める」と「二人三脚」で頑張ってきた入居者・ご家族、そして我々職員の努力の結果です。改善が見られた方には、施設から表彰状を贈らせてい

ただいております。みなさんとても喜んでくれ、それがまた我々の「やりがい」にもつながっています。また、この間には一名の入居者の方が、約四年間の入居期間を経て、住みながら「自宅」へと戻って行かれました。今後は、桜の郷 元氣のショートステイ・デイサービスを利用しながら、家庭生活を継続していく予定です。

もう一つの嬉しい事は、母校が春・夏の甲子園初出場をかなえられた事。春・夏共に初戦で敗退しましたが、創部から半世紀以上経って、「夢」をかなえた事に大きな感動を覚えました。この事で三十年以上も連絡を取り合っていなかった、かつての同級生とも少しずつ交流が生まれ始めました。三十年という時間がすつぱり空いていますので、友人が私を驚かそうと、待ち合わせ場所に長男を立てていた時には、時間が戻った錯覚にも陥りました。他業界で働く同級生から聞かされる話は、大変に勉強になっています。一方で、とても考えさせられる事もありました。私の叔母が他県の介護施設に入居しました。長年看護師をしていた叔母ですが、身体機能の

衰えと認知症状が出始めて、勤めのある従弟夫婦では、介護がままならずに入居となりました。初めて面会に訪れた際には、叔母は車椅子が自分で動かせる状況に無く、職員が集まるステーションのカウンターに、身動きが取れないように「放置されて」いました。「身体拘束」ですね。毎週面会している私の父や母は、それを見て、おかしいと思っても職員さんに何も言えなかったと言います。ここに、大切な家族を施設に預ける「複雑な感情」があります。「預かってもらっているのだから」・「意見を言ったら良い感情を持たれないのではないか」、後日私は責任者の方と面会し、説明を求め改善してもらえましたが、多くのご家族は、私の両親のように、きつと本心を伝えられないかもしれせん。私は施設長として、ご利用者へも当然のことながら、ご家族の「気持ち・思い・本心・願い」に、もつともつと、近づいていかなければなりません。「施設は施設長以上の施設にはなりえない」という事ですね。それを平成最後の年度に再確認できた事を忘れずに、今後の施設運営に生かしていきたいです。

第9回 元気まつり

実行委員長 吉村 道洋

十月二十一日それまで燻ぶっていた雨雲が嘘のように消え、晴れ晴れとした天気の中、桜の郷元気家族会との共催による、「第九回 元気まつり」が開催されました。当日は天候に恵まれた事もあり、入居者様やご利用者様、ご家族様、そして、例年より沢山の地域の皆様にお越しいただき、笑顔と笑い声の溢れた、とても賑やかなお祭りを行う事が出来ました。

当日は毎年恒例の地域ボランティアの皆様によるお囃子や素敵な衣装を纏った華やかなフラダンス、大戸小学校六年生による元気で素敵なハモ二一の合唱を披露して頂き、来場の皆様も笑顔で、手拍子をし、大



盛り上がりの様子でした。施設正面駐車場では、数多くの露店を出店させて頂きました。豚汁の無料配布を筆頭に、JAさくら様による直売所焼きそば、たこ焼き、やきとり、喫茶コーナーや輪投げ、近隣の薬局によるお薬相談コーナーやケーキ屋のお菓子販売、茶道体験等、大好評な結果となりました。特にバザーにおいては前年に引き続きご家族様の協力もあり、沢山の素晴らしい商品を並べる事ができ、そして格安価格でほぼ完売する事が出来ました。

この「元気まつり」を例年以上に盛り上げ開催することが出来た大きな要因は、やはりご家族様や地域の方々の皆様による多大なる協力であったと断言できます。家族会の皆様には、夏の暑い頃からお急がしい中打ち合わせにも参加して頂き、まさに一体となつてつくり上げる事が出来ました。

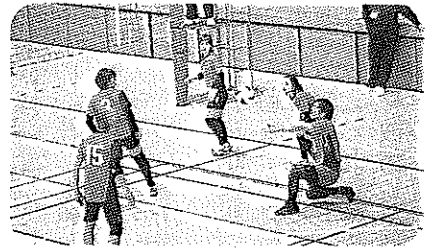
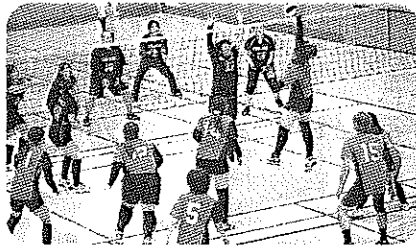
そして当日開催までの準備期間では、ご協力頂いた地域の方々もとても寛大な心で職員と接して下さり、さらに繋がりを深める事が出来たと感じました。心より感謝しております。



次回の開催は記念すべき第十回となり、節目の年でもあります。今年度以上にご利用者が「楽しかった」と思い出に残る元気まつりとなるよう、更にご家族様、地域の皆様との交流を深め素晴らしいものになりたいと思います。



老人福祉施設協議会バレーボール大会



やさとでは今年も茨城県老人福祉施設協議会主催のバレーボール大会に出場しました。他施設の方々と交流を深めながら、県南・土浦ブロック大会、県大会共に優勝することができました。一月は栃木県との交流試合が行われる予定となっています。皆様応援よろしく申し上げます！



お疲れ様でした

鈴木ケアマネジャーが八月に退職となりました。介護支援専門員として、子育てをしながら長年地域の社会福祉に大きな貢献をしていただきました。施設と職員から、これまでの功をねぎらい感謝状と記念品を贈りました。やさとはからは離れますが、これからの活躍もご期待いたします。

今年には台風や地震といった自然の脅威を思い知るケースが多かった気がします。まさに「備えあれば憂いなし」自分たちにできる準備は今からでもしっかりと整え、もし災害があればその備えによって助かる命があると思います。皆で助け合う意識を持ってほしいですね。

(S.T)

編集後記

事故対策委員会より

安心・安全な暮らしが送れるよう、様々な生活上のリスクに対し、職員一同で協力し、事故防止対策に努めております。

【桜の郷 元気】

月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
ヒヤリ・ハット	89件	149件	248件	168件	233件	887件
事故	17件	16件	27件	16件	17件	93件

【やさと】

月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
ヒヤリ・ハット	230件	257件	250件	275件	255件	1,267件
事故	43件	44件	34件	41件	34件	196件

やさとの数字内にデイサービスやさと、ケアハウス、GHさわらび、国府あおいの件数も含まれています。

身体拘束ゼロ委員会より

平成30年度は身体拘束等適正化の基準の見直しがありました。当法人においては身体的拘束に頼らない支援を継続していきます。

月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
桜の郷元気	0件	0件	0件	0件	0件	0件
やさと	0件	0件	0件	0件	0件	0件

苦情処理委員会より

【ご意見・苦情内容】

- ・ご利用者やご家族への対応や連絡帳の記載ミスなどのご意見を頂きました。一つ一つ改善に向けて取り組みます。(やさと)
- ・ご家族様への説明不足やお部屋の清掃状況に関してのご意見を頂きました。改善に努めて参ります。(桜の郷 元気)

月	4月	5月	6月	7月	8月	合計
桜の郷元気	0件	3件	1件	2件	0件	6件
やさと	2件	1件	1件	1件	1件	6件